

13R1Z 東京昭島ライオンズクラブ

昭島市民くじら祭 模擬店出店 活動のご報告

2017年8月5日(土)～8月6日(日)に昭和公園陸上競技場(昭島市)において「昭島市民くじら祭」が開催されました。



■ なぜ昭島でくじらのお祭りなのか？

昭和 36 年に多摩川の JR 八高線の鉄橋の橋脚近くでヒゲクジラ（全長は 16 メートル）化石が見つかりました。

このクジラは約 160 万年前のものと推定され「アキシマクジラ」と命名されました。

このクジラに因んで昭島市民くじら祭が開催されるようになりました。



上腕骨の化石



胸椎の化石

■ 模擬店の様子

昭島市民くじら祭はライオンズクラブの他の奉仕団体や昭島市、警察署、消防署等の団体と協力して開催されます。

東京昭島ライオンズクラブではヨーヨー風船釣り、ダーツなどの模擬店を出店しました。



みんなで協力してヨーヨー風船を作りました



東京並木通ライオンズクラブの高橋秀人L（左）と東京中央南ライオンズクラブの山口聖之L（右）にもヨーヨー風船作りを手伝っていただきました。風船のゴムが予想以上に固く苦戦しました。



回転盤に1等賞から7等賞までのシールを貼って、手作りダーツの出来上がりです。



賞品として子供達が喜びそうな豪華景品を用意しました。



ダーツの1等賞のシールが小さすぎて、誰も1等賞を当てることができませんでした。
次回はもう少し当たりやすくすることが反省点となりました。



今年は「ラッキーボール」というゲームコーナーを新しく追加しました。
木枠の中に約300個の紙コップを並べ、3個のボールを投げて色の着いたコップに入れば入賞です。



木枠はお祭り前日に東京昭島ライオンズクラブ 会長 川元英貴氏が1日で製作しました。
紙コップにボールを当てるとコップが飛んでしまうので、コップの中に砂を入れて重くすることがポイントです。

ラッキーボールの2等賞の景品として「くじら祭特製ストラップ」を100個用意しました。

このストラップは東日本復興支援且つ障がい者支援を兼ねて、岩手県社会福祉協議会を通じて岩手県盛岡市にある障がい者施設「クローバーズ・ピア盛岡南」に製作いただきました。

木の板を横4cm・縦3cmのクジラの大きさに切り色を塗りました。

1つ1つの顔の形や表情が違うことから1つ1つ丁寧に障がい者さんが作成してくれたことが伝わってきます。



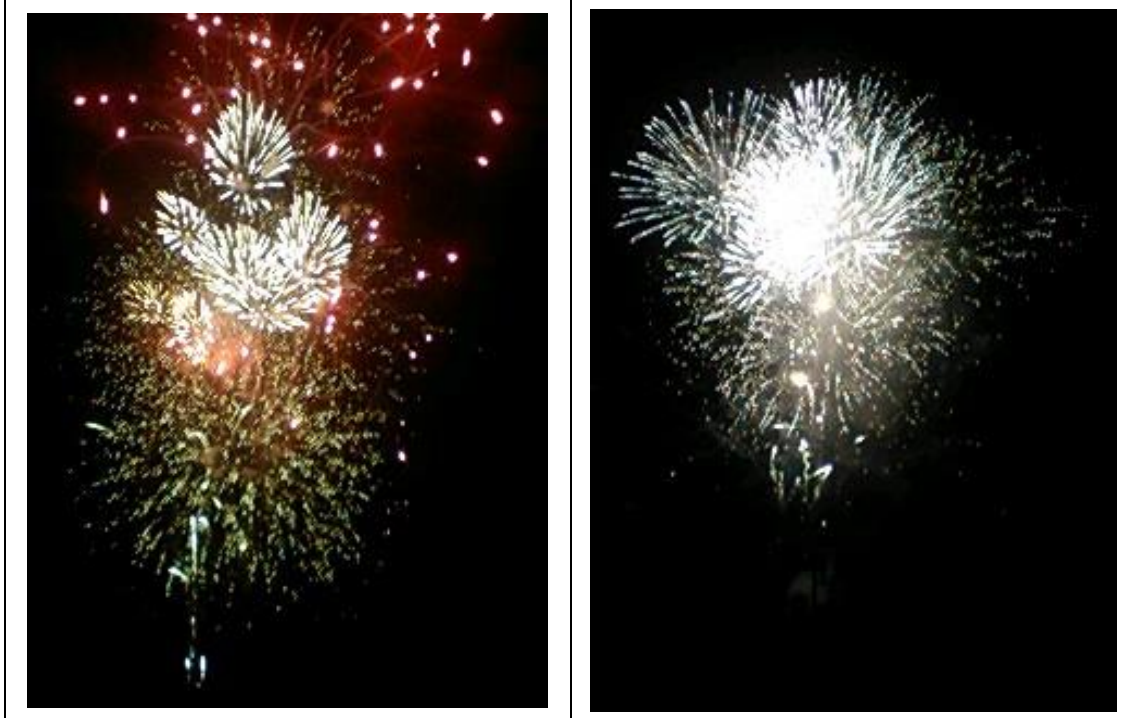
このストラップは大人気となり、たくさんのお客様がラッキーボールの2等賞を当てるためにたくさんの資金を投じてくれました。

被災地の障がい者さんへ仕事を与えることは、障がい者さんにとっても明るい兆しとなり、明日への希望にも繋がると考えて発注に至りました。

次回以降も東日本大震災の被災地となった障がい者施設へストラップを発注しようと考えています。

■ お祭りの様子

8月5日（土）夜にはネット多摩昭島スタジアムにおいて約2000発の花火を打ち上げました。約5万人の観衆が夏の夜空に打ち上がる夢花火を楽しみました。



8月6日（日）にはお笑い芸人のラッセン永野のライブも開催しました。
会場は大いに盛り上がりました。



■ 応援いただいたクラブのご紹介

東京国立ライオンズクラブより13R1Zゾーンチェアパーソン 平山和克Lと
幹事 須藤雅明Lが応援に駆けつけてくれました。



東京国立LC 会長 大和祥郎L、東京並木通LC 幹事 高橋秀人L、東京中央南LC
山口聖人Lにも応援に駆けつけていただきました。



たくさんの方々にご協力をいただき大盛会となりました。
ご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

文責： 東京昭島ライオンズクラブ 第一副会長 L関 飛雄一